

モモの省力化技術を導入しましょう

…実証圃で講習会・検討会 速やかに普及へ…

果樹技術普及センター

近年、果樹産地では担い手の高齢化や、耕作放棄地の拡大などが問題となっており、これらの対策として、省力化技術の開発が求められています。

果樹試験場では、平成23年にモモの省力化技術として、摘蕾、摘花、摘果の作業時間を短縮可能な「モモの早期着果調節と短果枝削減による省力化」を発表しました。果樹技術普及部ではこの技術について、試験研究と協力しながら普及活動を進めています。

平成24年度は、県内3カ所の実証圃を設置して技術の理解を深めるとともに、作業時間や果実品質などの調査、現地検討会などを実施しました。また、より多くの生産者へ技術の周知を図るため、資料配付や雑誌への記事掲載などを行うとともに、講習会園を中心に展示ほを設け、受粉などの講習会に併せて技術紹介を行いました。

これらの取り組みの結果、技術の周知が図れ、生産者の関心も高まっています。この省力化技術の導入地域の拡大を目指し、普及活動を継続していきます。



省力化は短果枝削減と摘蕾がポイント



←早期摘蕾区 対照区→
早期着果調節の実施状況



収穫間近の早期摘蕾区の果実の様子

農作業を安全に行いましょう

農作業の省力化と経営の合理化を進めるため、農業機械は、必要不可欠なものとなっています。今年も、農繁期を迎え、農業機械の利用が多くなるにすぎない、農作業事故が増加することが懸念されます。農作業中の死亡事故は、全国で毎年400件近く発生しており、そのうち農業機械による事故が約7割を占めています。県では、市町村、農業団体、農業機械商業協同組合等の協力を得ながら、農業者の皆さんに安全な農作業の推進を呼びかけております。農業者の皆さんは、「焦らず、急がず、慎重に」

- ◎作業時はきちんとした服装をする
- ◎ほ場の出入り、あぜ越えに注意する。
- ◎移動走行時には人や車に注意する。
- ◎点検・整備時にはエンジンを停止する。
- ◎取扱説明書・安全ラベルを理解する。
- ◎柵・支柱等は目立つように印を付ける。
- ◎できる限り一人での作業は避ける。

などの点に気を付けて、安全な農作業に努めてください。

山梨県普及センターだより

Yamanashi Agricultural Extension Service Information

●編集/発行 山梨県総合農業技術センター ●住所 甲斐市下今井1100 〒400-0105
●Tel.0551-28-2496 ●Fax.0551-28-4909
●URL.http://www.pref.yamanashi.jp/sounou-gjt/
●E-mail.sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

No.20
平成25年
3月19日発行

早出しスイートコーンのベテラン管理技術が見えてきました ～普及指導員による産地の調査研究から～

総合技術普及センター

総合技術普及センターでは、早春の凍霜害への対策を兼ねて、県内の主要野菜の一品目である「早出しスイートコーン」の生育状況を、毎年調査しています。作型ごと協力農家にお話し、ほ場の温度や生育の進み方、収穫されたスイートコーンの品質などを調べ、農家の技術を数値として分析し、技術の向上や産地の発展に活かさないかと活動しています。

これまでの調査研究から、ベテラン農家の管理技術の勘所が明らかになりました。一言でいうと「かわいい子には旅をさせろ!」になります。まだ寒さ厳しい2月下旬から、トンネルの裾を開ける換気で、日中のトンネル内部の温度を40℃以下に抑えています。この時のスイートコーンは、葉の枚数が5枚、草丈は15cm程度と、まだ、独り立ちし始めたばかり。小さいときから鍛えられたスイートコーンは、その後、たくましく生長し、良質で大きな実を結びました。ベテランの徹底した管理で、山梨のおいしいスイートコーンが生産されています。



現地調査の様子



ベテラン農家の換気



収穫期を迎え大きな実を付けた畑



収穫されたスイートコーン



品質調査の風景

農業者の皆さん農作物の凍霜害を回避しましょう

凍霜害による農作物への被害が心配の時期となりました。県では、3月15日から5月20日までの期間を「凍霜害警戒期間」として定め、農作物への被害の発生を回避するよう務めています。

凍霜害から農作物を守るために必要な、最低気温や降霜の有無などの情報を、報道機関が行う天気予報の中で提供していますので、十分な注意と農作物への管理をお願いします。

常日頃から栽培している農作物への予防対策にも万全を期すようにしてください。また、万一、農作物へ被害が発生した場合には、農業協同組合や最寄りの地域普及センターへ連絡すると共に、速やかに事後対策の助言を受けてください。

目ざすは
年間をとおした
野菜づくり

冬の野菜づくりを応援しました!



生産者団体の展示ほで、
早春レタスの講習(甲斐市)



冬野菜の作型や品種を紹介しました。
直売所では大人気との声も

中北地域普及センターでは、一年を通して栽培講習会の開催を支援していますが、近年、冬野菜をテーマにした指導依頼が増えてきました。2~3月の時期は県産野菜が少なくなるため、出荷品目の拡大が求められています。

そこで今年度は、総合農業技術センターの成果である、厳冬期どりコマツナ、チンゲンサイ、コカブおよび早春どりレタスのトンネル、無加温ハウス栽培の普及に努めています。

実際に栽培した生産者からは「直売所に出荷するとすぐに売り切れて好評なので、種を追加注文した」「他の品目にもチャレンジしたい」等の声が寄せられました。

今後も作型や品目選択について、広域的に支援を行っていきます。

中北地域普及センター



農事組合法人で冬野菜の試作を行いました



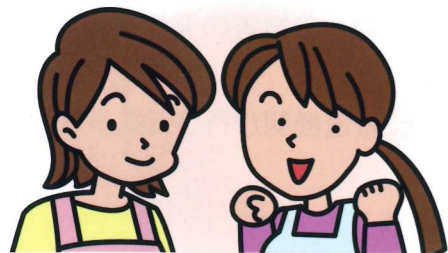
女性の方で新たな商品開発に取り組みました!!

峡東地域普及センター

峡東地域の農村女性起業グループの活動は、イベントや道の駅、直売所での販売活動が中心ですが、果樹地域での忙しい農作業の傍らの活動であることから、新たな特産品を開発することは非常に難しい状況にあります。そこで、地域普及センターでは事業を活用し、外部専門家の意見を取り入れ、付加価値の高い商品を開発するための支援を行っています。

今年度は、山梨市牧丘町西保地区で活動をしている、鼓川温泉市場組合手作り工房「乙女の郷」を対象に、主力商品の手作り味噌を使ったお菓子の開発に取り組みました。レシピの開発として料理専門家を招き、数種類のお菓子を試作する中で、味噌マフィンと姉妹品として地元産の巨峰ジャム、梅干を練り込んだ3種類のマフィンの開発を行いました。また、中小企業診断士を招き、直売所などで商品を優位に販売するための方法として、商品のネーミング、POP作成について学びました。文字の書き方の実習や具体的に新商品の味噌マフィンについてPOPに書く内容をみんなで考えました。今年度の活動成果である新商品は2月22日~24日に開催された山梨県地場産業祭りで販売され好評でした。今後は消費者からの意見を商品に反映させていくことが課題です。

普及センターでは、引き続き起業グループの活動がさらに発展するように支援を行っていきます。



焼き上がった試作マフィン



POP作成のために書き方の練習をしています

直売所の冬期販売品目増加のための支援しました

峡南地域普及センター

富士川町のJAふじかわ増穂直売所では、地元生産者が栽培した野菜や花きなどを販売していますが、特に冬期に直売所に並ぶ品目が少なくなるという課題があります。峡南地域普及センターでは、JA、直売所と連携し、冬期の販売品目を増やすため、冬期穫り野菜の導入に向けた取り組みを始めました。

直売所生産者組織(JAふじかわ増穂直売会)を対象に、冬期穫り野菜(コマツナ、チンゲンサイ、コカブ)のトンネル栽培展示ほを設置しました。栽培講習会や現地検討会を開催したところ、冬期にも畑を利用して栽培出荷を行いたいという生産者からは、来年は取り組みたいという声も聞かれました。

また、課題として今年の冬が寒かったこともあり収穫期の遅れが見られたため、改善に向けた指導を行っていきます。

今後は、厳冬期作に取り組みもうとする農家に栽培技術を広め、周年を通しての品揃えを増やしていくように活動を続けていきます。

目ざすは
年間をとおした
野菜づくり



1重トンネルのコマツナ
(11月20日播種1月10日撮影)の生育状況



講習会に集まった生産者組織の皆さん
(富士川町天神中条地区)

農業基礎技術講習会を開催しています

富士・東部地域普及センター

富士・東部地域普及センターでは、管内3つの市・町と連携して、農業の初心者を対象とした基礎技術講習会を開催しています。

このうち、都留市では今年度から受講生を新たに募集し、畑を使った実技講習会を始めました。

西桂町と大月市では、多くの受講生が2年目を迎え、うね立てやマルチ張りなどの農作業、クワ・カマの



獣害防止ネットを設置(大月市)



学校給食用バレイショの選別作業(西桂町)

農具や管理機といった簡単な機械の使い方や、農作物の管理についての知識にも習熟してきました。今年度は、栽培品目を増やしたほか、獣害防止ネットを利用した柵作り、学校給食への試験的な出荷など新たな内容にも挑戦し、農産物の販売を始める受講生も現れています。

平成25年度は、作業計画づくりや栽培管理などを受講生の自主性に任せた運営ができるよう引き続き支援していきます。